

(保育所版)

(別記)

福祉サービス第三者評価結果公表事項

① 第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

② 施設・事業所情報

名称：アユーラキッズルーム あむばむ空港通り	種別：保育所（小規模保育所）	
代表者氏名：井上 嘉那	定員（利用人数）： 19名（22名）	
所在地：愛媛県松山市高岡町127-7		
TEL：089-974-5618	ホームページ：www.ayurastation-matsuyama.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成16年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 エイジングウェル		
職員数	常勤職員：5名	非常勤職員：6名
専門職員	（専門職の名称）	
		保育士 6名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 3 職員室 2	調理室 2 トイレ 2

③ 理念・基本方針

- ・ 子ども一人一人を大切に、心身共に健康で、日々、いきいきと過ごせるよう、保育します。
- ・ 人を愛し愛される子ども・友だちと仲良く遊べる子どもになれるよう、保育します。
- ・ 保護者から信頼され、地域に愛される園をめざします。
- ・ 子どもたちの心身の健康を育みます。
- ・ 周りの大人や、異年齢の友だちに対しての、愛情と信頼感を育てます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

利用者に寄り添い、支え守りたいという思いのもと、介護保険事業、障がい者総合支援事業、保育事業、家庭支援事業を展開している株式会社エイジングウェルの小規模保育所である。一人ひとりの子どもを大切にする理念に基づき、保護者のニーズに応じて生後3カ月の乳児期からの受け入れ、一時保育や松山市西部地区では数少ない休日保育を行い、積極的な子育て家庭支援に取り組んでいる。

(保育所版)

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年10月25日（契約日） ～ 平成30年1月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（平成29年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

子育て家庭に温かい気持ちで寄り添いながら連携を図り、子どもの育ちとともに喜び合える保育に努めている。また、保護者や地域のニーズに応え、柔軟な園児の受け入れや、休日保育等を行っている。

さらに、法人内の研修等を充実し質の向上を目指すとともに、職員等が自分の将来を描くことができる仕組みがある。一人ひとりの職員が、ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方ができる配慮や共に支えあう職場環境が整備されていることは大いに評価できる。

◇改善を求められる点

園としての事業計画、各マニュアル等の整備や、文書化が望まれる。

さらに、保育についての標準的な実施方法を文書化され、見直しや確認する仕組みづくりを期待したい。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当園は、平成27年度から小規模保育事業所となり、今回初めて第三者評価を受審しました。この受審結果を今後の施設運営に活かすとともに、明確になった園の課題を職員間で話し合い、改善に努めてまいります。今後、保護者と地域に愛され、選ばれる園を目指していきたいと思います。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ ① ・c
<コメント> 理念は、明文化され入園のしおり・パンフレット等に記載され、周知が図られている。掲示等での周知等、今後も継続的な取組みを期待したい。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	① ・b・c
<コメント> 法人の会議等で、経営に関する地域のニーズや経営状況の分析が行われている。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	① ・b・c
<コメント> 経営課題は園長から職員に周知され、具体的な取組みにつながっている。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ ① ・c
<コメント> 法人で策定された計画は本社に保管され、内容については報告を受け全体で認識したうえで進めている。今後は、園独自の中・長期計画を職員参画のもと策定することが望まれる。		

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>内容は具体的な目標数値等を示し文書化され、本社に保管している。今後は中・長期計画とともに園独自の単年度計画を職員参画のもと策定されることが望まれる。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>事業計画の策定や評価・見直しは組織的に行われ、職員に伝えられている。今後は、文書化され、十分な周知・理解を促すための取組みが望まれる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>保護者等へは、わかりやすい資料等を用いて、周知や理解を促すための取組みが望まれる。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>法人内で自己評価や他部署による第三者評価を行う体制が整っている。今回の第三者評価受審等、保育の質の向上に向けた取組みが行われている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果に基づき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>評価結果の分析や取り組むべき課題、改善策や改善実施計画等を文書化し、活用されることを期待したい。さらに、職員に十分な周知や理解を図ることが求められる。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ b ・c
<コメント> 園長の役割・責任は規定や職務分掌に明記され、職員に周知されている。有事の際の園長の役割・責任や、園長不在時の権限委任等の明確化が課題である。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ b ・c
<コメント> 法人の研修会等に参加し法令等の理解に努めている。今後は、遵守する法令のリスト化や環境整備等、職員の理解を深める取組を期待したい。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a ・b・c
<コメント> 日頃から保育現場の意見や考えを聞くようにし、こまめなミーティングを心がけている。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a ・b・c
<コメント> 法人と連携し、経営改善やパソコンを活用した情報共有（ICT化）を図り、業務の実行性を高める取組を行っている。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a ・b・c
<コメント> 現場の意見も反映しながら、法人で人事管理が行われている。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a ・b・c
<コメント> 法人で人事管理が行われ、職員の育成やキャリアパスが明確化されている。		

(保育所版)

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員の就業状況の把握やストレスチェックの実施等を行っている。ワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方ができる、職場環境づくりに取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員の自己評価や人事考課シートをもとに年2回法人での面接を行い、一人ひとりの目標達成に向けた取組みや状況を確認している。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>外部研修の受講も含め、法人内で教育・研修計画が策定・実施され、保育部門や法人全体の質の向上を目指している。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>法人内外で、階層別、職種別、テーマ別等研修等の機会が確保されている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・Ⓒ
<p><コメント></p> <p>実習生等の受け入れは行われていない。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>ホームページやパンフレットで園の理念や保育サービス等についての情報が公開されているが、財務等を含む園の運営に関わる情報公開はされていない。</p>		

(保育所版)

22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・㉔
＜コメント＞ 事務、経理、取引等に関するルールはあるが、文書化されておらず職員に周知されていない。経理は税理士に一任されている。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉑・b・c
＜コメント＞ 小規模保育所のため地域との交流は限られてくるが、散歩や行事等の機会に交流を深めている。		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・㉔
＜コメント＞ 現在、園でのボランティアの受け入れは行われていない。今後は、地域と保育所をつなぐ柱の一つとして、受け入れ体制の整備を期待したい。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・㉑・c
＜コメント＞ 関係機関をリスト化し、職員間での情報の共有化が望まれる。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・b・㉔
＜コメント＞ 現在、具体的な取組みは行っていない。		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉑・c
＜コメント＞ 地域や保護者のニーズとして、一時預かり事業に取り組んでいる。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 子ども一人ひとりを大切にする姿勢を保育理念に掲げ、職員間で共通の理解をもち、一人ひとりの子どもを尊重した保育に努めている。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・㉒・c
<コメント> プライバシー保護等、権利擁護に関するマニュアルの整備が望まれる。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<コメント> しおり等を使用し、わかりやすい情報提供に努めている。必要に応じて地域の福祉サービスの情報も提供している。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<コメント> 利用希望者に対して入園のしおりや自治体のプリント等を使用して、わかりやすく説明している。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・㉒・c
<コメント> 3歳からの保育についてのアドバイスや、退園後の子育て相談等の受け付けについて口頭で案内を行っている。保育の継続性に配慮した手順や引継ぎの文書化が望まれる。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 個人懇談の実施や行事後のアンケートを行い、ニーズの把握に努めている。		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>苦情解決に関するマニュアルの作成、第三者委員の設置、利用者にわかりやすい掲示、苦情受付ポスト設置等の整備が望まれる。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>利用者と職員がコミュニケーションをとりやすい環境づくりに努めている。</p> <p>意見を述べられる環境が整備されていること、その方法や相手を自由に選べること等、文書による周知が望まれる。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>保護者の相談や意見は職員に周知し、迅速な対応を心がけている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>園長を中心としたリスクマネジメント体制が整っている。週案書類にヒヤリハットを組み入れ、リスクの予防に努めている。今後も、要因分析を実施し、改善策・再発防止策等の情報共有を行い、継続した取組を期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>感染症対策に関するガイドライン等を基にした、感染症対策マニュアルの整備が望まれる。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>園が設置されているマンションの消防計画等を利用して避難訓練を行っている。備蓄や避難時に必要な備品等は準備され、避難先の確認もできている。低年齢の子どもたちが生活する保育所として、室内整備や避難経路等の安全確保の工夫や、地域との連携等を含めた防災計画の作成が望まれる。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>職員間で話し合って定めた実施方法で行われているが、標準化できる内容は文書化し、共通理解のもとで保育サービスが提供されることを期待したい。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>実施方法について、機会あるごとに話し合いがもたれている。組織的に見直しをする仕組みづくりを期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>責任者により、アセスメントから指導計画策定まで行われている。今後は、アセスメント票等の見直し、職員参画のもとでのアセスメント実施、計画策定の手順等の体制づくりが望まれる。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>指導計画の評価・見直しを行い、保育に関わる課題等を明確にし、質の向上につながる積極的な取組みが望まれる。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>決められた様式に基づき適切に記録が行われている。情報の共有化については、10月よりICT化を図り、職員間で共有しやすい体制づくりを始めている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>個人情報保護規程に基づき、施錠できる書庫に保管されている。記録の取り扱いから廃棄にいたるまでの管理体制が確立されている。</p>		

A-1 保育内容**1-(1) 保育課程の編成**

	第三者評価結果
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c

所見欄

保育課程は、保育所の理念や保育方針等に基づき、子どもの発達過程を踏まえて編成している。職員で定期的な振り返りを行い、実態に応じた編成になるように努めている。

1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもの受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・Ⓑ・c
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c 非該当
A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・Ⓑ・c
A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c 非該当

所見欄

適切な室内環境を整え、限られた条件の中で収納の工夫を行い、室内にコーナーを作る等、各年齢の子どもたちが心地よく安心して過ごせる環境づくりに努めている。小規模ということもあり、子ども一人ひとりに丁寧に関わり、家庭との連携を図り、伝達ノートも活用して職員間での共通理解を深めている。

家庭的な雰囲気の中で、子どもたちの「自分で」という意欲を大切にし、一人ひとりに応じた配慮や援助を行うよう心がけている。

0歳児保育では、安全安心な環境の中での情緒の安定を図っている。園としても、乳児期の保育をより充実させていきたいと考えている。1・2歳児保育では、保育士が関わりながら、安心して遊びや探索活動を楽しめるよう環境整備をしている。また、2歳児保育では、園外での様々な体験活動や乗り物を使った社会体験等を取り入れるとともに、卒園後の生活に見通しをもち、つないでいくことができるよう配慮した保育を行っている。

配慮を必要とする子どもへの保育や援助については、研修等に参加し理解を深めている。長時間保育では、保護者との十分な連携を心がけ、職員間の伝達を適切に行い、子どもたちが安心してゆったりと過ごせるようにしている。

1- (3) 健康管理

	第三者評価結果
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・ b ・c
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a ・b・c
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・ b ・c

所見欄

子どもの健康状態に合わせて、適切な健康管理は行われているが、基本的な健康マニュアルの整備が望まれる。SIDS（乳幼児突然死症候群）予防の睡眠時チェックは、センサーやブザーを使って適切に行われている。

健康診断や歯科健診の結果は、職員に周知し記録するとともに、保護者にも連絡して保育に反映している。

アレルギー疾患等のある子どもについては、医師からの指示で適切な対応を行っている。今後、緊急時対応マニュアルの整備を行い組織的な対応が望まれる。

(保育所版)

1- (4) 食事

	第三者評価結果
A-1-(3)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・ ② ・c
A-1-(3)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・ ② ・c

所見欄

法人本部で調理されたものを運び、調理師が加熱等を行い、園で配膳するという形式をとっている。栄養士が園の子どもたちの嗜好や喫食状態等の把握を行い、保育士と連携し、おいしく安心して食べる食事の提供に努めているが、今後の課題として、季節感のある献立や見た目も楽しい行事食の工夫があげられる。

A-2 子育て支援

2- (1) 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	① ・b・c

所見欄

子どもの姿や育ちを、連絡ノートや送迎時のコミュニケーションの中で伝え、家庭との連携を図っている。参観日や個人懇談でも、子どもの育ち、子育ての悩みや相談ができる機会をもっている。

2- (2) 保護者等の支援

	第三者評価結果
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	① ・b・c
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害のある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・ ② ・c

所見欄

保護者の気持ちに寄り添い、日頃からコミュニケーションを大切にした子育て支援を行っている。虐待等権利侵害については、マニュアルや関係機関との連携体制の整備が望まれる。

A-3 保育の質の向上

3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・ ⓑ ・c

所見欄

定期的に、指導計画の評価、反省、保育実践の振り返りを行っている。保育実践の改善を図るため、結果だけではなく保育の過程を振り返るものとなるような自己評価が望まれる。